

考試科目	日文	系所別	外交學系	考試時間	2月3日(六)第二節
------	----	-----	------	------	------------

一、 翻譯：70% (1-5 各 10%・第 6 題 20%)

1. ブランド名と発祥が一致するのを見てみましょう。リンゴのフジは青森県藤崎町で品種改良されたもので、「フジ」は藤崎町の「藤」から取ったもの。
2. 日本は先の太平洋戦争以降、敗戦のショックや戦争加害者としての立場からか、つい最近まで欧米の国々ほどには中国への感心や情報には敏感でない部分があった。
3. 今 21 世紀に入ってようやくテレビや映画や情報機器の発達もあって、たとえば台湾のテレビドラマが日本で大きな人気を博するなどの現象が見られるようになりました。日本のアニメやマンガ、韓国ドラマなども東アジア全体で楽しめるようになっています。
4. 海戦の大敗北によって日本軍は劣勢におちいり、1943 年 2 月のガダルカナル島撤退、翌年 7 月のサイパン島陥落と、敗退を続け、制海権・制空権もうばわれ、本土は激しい空襲に見舞われた。この責任をとって東条英機内閣は辞職、小磯国昭内閣が誕生するも状況は好転せず、食料不足、勤労動員が日常化し、国民生活は困窮をきわめた。そして 1945 年 4 月、米軍が沖縄に上陸する。もはや日本の敗北は明らかだった。
5. 安保改定交渉は岸首相とマッカーサー駐日米大使との会談から始まった。岸は「総選挙の勝利によって初めて日本に長期安定保守政権が生れた」として安保改定の意向を表明し、それが九月の藤山外相訪米へつながる。
6. 北方領土の共同経済活動 日ロが具体化に向け本格協議へ

日ロ両政府は北方領土での共同経済活動の具体化に向けて、ことし本格的な協議を始める方針で、双方の法的な立場を害さない「特別な制度」で一致できるかが大きな課題となっています。

日ロ両政府は「平和条約の締結に向けた重要な一歩になりえる」として、おとし、日本で行われた日ロ首脳会談以降、北方領土での共同経済活動について協議を進めています。

去年は日本側の官民でつくる現地調査団が 2 度、北方領土を訪問し、海産物の養殖や温室野菜の栽培など優先的に取り組む 5 つの事業を選びました。

両政府は来月までに外務省の次官級協議を開いて本格的な話し合いを始める方針で、ことしの春にも共同経済活動の具体化に向けた道筋をつけたい考えです。

しかし、共同経済活動の基盤となる法的な立場をめぐっては、日本側が双方の法的な立場を害さない「特別な制度」を求めているのに対して、ロシア側は「ロシアの法制度の下で行われるべきだ」と主張しており、実現に向けては、こうした立場の違いを乗り越えて一致できるかが、大きな課題となっています。

資料元：

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20180105/k10011279421000.html?utm\\_int=news-international\\_contents\\_list-items\\_026](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20180105/k10011279421000.html?utm_int=news-international_contents_list-items_026)

二、 作文 30%

私が一番やりたいこと

備

註

- 一、 作答於試題上者，不予計分。
- 二、 試題請隨卷繳交。